

## 全国のテレワークメンバーが集い ワーケーションでチームビルディングを行う



別府市鉄輪（かななわ）温泉にあるコワーキングスペース「a side 満寿屋」

### 株式会社ジョイゾー

サイボウズ社が提供する「kintone（キン トーン）」を活用し、お客様の課題を解決するシステムの開発やサービスを提供。従業員数約30名。東京都主催「第3回 TOKYO テレワークアワード」にて推進賞を受賞。



### 大分県別府市

人口約11万人。玄関口である大分空港へは首都圏から約1時間半でアクセスができる。市内には「別府八湯（はっとう）」と呼ばれる多様な温泉があることで知られ、多くの観光客が訪れる。

### プロジェクト担当者



笹川 茉衣さん

株式会社ジョイゾー SI チーム

### プロジェクト担当者



魚返 将和さん

一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK

### 取組概要

#### チームビルディングのためのワーケーション

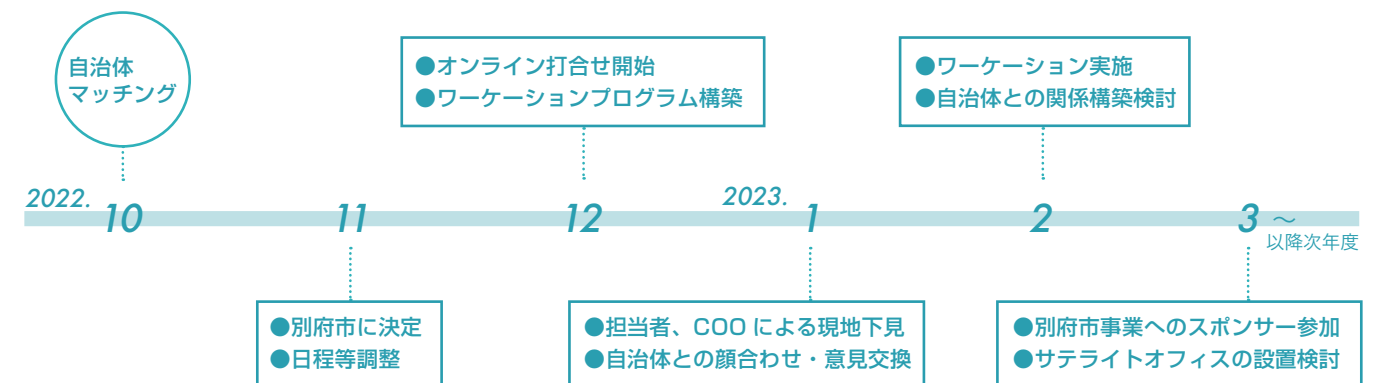
株式会社ジョイゾー（以下、ジョイゾー）は、社員の「仕事も住む場所も選びたい」という思いを尊重しているため、「首都圏で採用後に、子育てのために地元に移り住みテレワークで業務はそのまま継続する」「中途採用で地方からテレワークを行う」など社員は多様な働き方をしています。

そのなかで、「遠方の社員同士が同じチーム内に関わらず対面では3年間会っていない」などの課題が生じていました。また社内から「オンラインで仕事は回っているが、それだけでは物足りないので、チームとして次のフェーズに移行したい」という声が上がりはじめていました。加えて、取り扱うサービスが増え、より密にコミュニケーションを取り意見を出し合える環境構築が必要となり、本事業を通して、地方のメン

バーを含めてチーム全員が集まりチームビルディングを行うことと、また将来的に地域と協業することを目的とした10名参加、3日間のワーケーションの検証を行いました。

ジョイゾーではチーム内に大分県在住のメンバーがおり、子供が小さく他の地域に出ることが困難なため、残りのメンバーが会いに行く形で、ワーケーション先として別府市が選ばれました。ワーケーションでは、別府ならではのアクティビティや食事を共に体験する他、会社や自らのあり方について議論を行う時間を多くとるなど、目的実現のためプログラムの工夫を行いました。まず社内のワーケーション担当者とCOOの2名で事前視察を行い、ワーケーション内容は地域のプレイヤーと連携しながら大枠を決めるとともに、事前視察やワーケーション内にて、別府市の行政や地域プレイヤー、事業者、立命館アジア太平洋大学などと交流するプログラムを実施しました。

### 実証スケジュール



### 参加者の声



小林 智さん

新潟から参加・ワーケーション初参加

ワーケーション初参加のため、仕事の時間とレクリエーションの時間のメリハリをつけるのに慣れていないと感じる場面がありました。ただ、普段は長期間で成果を出すという仕事をしているが、ワーケーションでは仕事時間が区切られていることもあり、そのなかで区切りが良いところまで進めようと普段より身の引き締まる思いがあります。

私は、入社してから3年間新潟にあり、まだ子どもが小さいため半年に1度しか東京に出張していませんでしたので、数人のメンバーとは初めて会うことができ良かったです。

リモートでは、用事がある際にコミュニケーションを取ってすぐに解散しますが、対面では用事の後も地続きで時間が繋がっているので話が続いて意識の共有がしやすいなど、対面でのメリットがあったことを思い出しました。また普段は指導する際にも一人ずつ打ち合わせに呼び出してという手間が省け、一気に同じ机で複数人に教えられるのも効率的だと実感しました。



川岸 亜加里さん

千葉から参加・ワーケーション3回目

私は、普段は週2回東京のオフィスに出社していますが、ワーケーションで共通体験をすると帰ってからも共通の話題ができ、チームの仲が深まると思っています。さらに、チームビルディングの一環としてのづくりを行なったことで、意外な特技などの個性を見つけることができ、心の距離も縮まった気がします。



実証結果

コミュニケーションの活発化  
別府市との関係構築

ジョイゾーは、他地域でのワーケーションを実施したことがあり、そのなかで出た課題や懸念事項に対して、今回のワーケーションでは対策を行いました。まず、ワーケーションメンバーが移動中か仕事中かということを会社等に残っているメンバーがわからず、連絡が取れないという課題がありました。これに対しては、ワーケーションスケジュールの詳細を社内で共有するという対策をとりました。

そして懸念事項として、今回参加するのは顧客の製品サポートを行うチームのため、ワークショップ中に顧客の問い合わせ等が気になって集中できないということです。これに対しては、まず問い合わせになるべく穴をあけないように集中して仕事をする時間が設けられました。さらに今回は、問い合わせの回答に時間がかかる場合があることを、顧客側に事前に了承いただく対応を初めてとりました。参加者自身が短時間で仕事を回せるように準備してきたこともあり、全員でコワーキングスペースで集中して仕事に取り組む時間とワークショップに取り組む時間でメリハリが

生まれました。

ワーケーション準備の段階からチームビルディングの一環として、参加者をグループに分けるとともに、それぞれで行程のなかでワークショップを企画するなど全員が主体的に関わる仕組みを構築する工夫も行われました。そしてチーム全員で同じ内容のプログラムを行うことで、新卒から50代までの幅広い年代でも話のきっかけが生まれ、話しやすい雰囲気が醸成されました。さらにコミュニケーションがより活発となり、パフォーマンスがあがるという目標の達成を見込んでいます。

地域との協業という観点では、別府市のDX推進の担当部署と別府市のDXへの取り組みや、別府市が導入していて、自社で扱っているサービスについての意見交換などを実施しました。

また、別府市や地域事業者との交流を行った結果、B-biz LINKが運営する「BEPPU FAN TOWN」(※)のサポート企業としてジョイゾーを登録し、今後の関係性深化に向けた第一歩となりました。

※別府市のツーリズムバレー構想の柱のひとつである「ヒト・企業とのつながり強化」の取組みとして始まった、別府でチャレンジする人やそれを支える人たちの出会いを創出するオンラインコミュニティ。  
出典：https://www.city.beppu.oita.jp/sangyou/sangyousinkou/tourismvalley/fantown.html

別府市からのメッセージ

別府市では、市内ワーケーション施設の紹介からプランの企画、滞在中のサポートまでをきめ細やかに対応するワーケーションコンシェルジュを配置しており、企業にワーケーションの実施目的などをしっかりヒアリングして、目的に合うプランを提案しています。企業が望んでいることと、地域が提供したいコンテンツはマッチしないことが多いので、別府市では目的にあったプランを提供して企業側の満足度を高めることでリピートにつなげられるよう、事前のヒアリングに重きを置いています。今回は、チームビルディングが目的ということだったので、地域の料理（地獄蒸し）、ドローンサッカーなどを参加者全員で体験するようなプランを提案しました。

また、北浜地区、鉄輪温泉地区の両方でコワーキングスペースを利用してもらうプランも提案しました。

これらを通して、温泉と観光のイメージがある別府市に複数コワーキングスペースがあり、きちんと働けることを知ってもらうことで、企業単位だけでなく、個人単位での再訪などにつながることを期待しています。

一般社団法人別府市産業連携  
協働プラットフォーム B-biz LINK

魚返 将和さん

|                    | 実施前 | 実施後 |                                      |
|--------------------|-----|-----|--------------------------------------|
| 実証実施前に期待した効果と実際の成果 | ●   |     | 採用の優位性の確保（優秀人材の確保）                   |
|                    | ●   |     | 地方人材の採用・育成                           |
|                    | ●   |     | 地方移住を希望する従業員の離職防止（テレワークによる就業継続）      |
|                    | ●   |     | 従業員のワークライフバランス向上                     |
|                    | ●   |     | 福利厚生等を目的としたワーケーションの推進                |
|                    |     | ●   | 従業員の発想力・創造性向上によるイノベーション創出            |
|                    |     |     | 従業員同士のリアルなコミュニケーション機会の提供             |
|                    |     |     | 仕事の品質や効率の向上を目的としたワーケーションの推進          |
|                    | ●   | ●   | 企業イメージ・企業価値の向上                       |
|                    | ●   |     | 地方オフィス活用（＋都市圏オフィス縮小）による家賃コスト等の削減     |
|                    | ●   | ●   | 地方自治体や地方企業との関係構築・新規ビジネス創出            |
|                    | ●   |     | 災害等のリスク分散による事業継続性アップ                 |
|                    |     | ●   | 地域貢献、地方創生（東京一極集中を是正し、地域を盛り立てること）への寄与 |
|                    |     |     | その他                                  |

社内検討の結果、取組をチームビルディングに絞って実行したため、地域との関わりの深化は今後の取組となる



街中に湯煙が立ち上り情緒豊かな鉄輪温泉



温泉の蒸気を利用して食材を蒸す“地獄蒸し”体験



地獄蒸し大豆を使った味噌づくり体験



グループでのワークショップから味噌づくりを終えてチームワークも高まる

企業としての展望

事前視察の際に地域の事業者より、湯治ワーケーションの提案がありました。内容としては、「1ヶ月ほど別府市に滞在して社員が心身ともに健康になって首都圏等に帰るというワーケーション」という魅力的なものであったので、今回は実施しなかったものの、今後実際に取り組めるか検討を行いたいと思います。

また大分県には社員が居住しており、さらに本事業を通して地域の事業者等との出会いが生まれたので、このまま関係を継続し、将来的には現地採用やサテライトオフィス設置も視野に入れながら協業していくことを検討しています。

地方では学生が進学や就職で転出してしまうという課題があるなかで、ジョイゾーは「首都圏で採用した社員が希望をしたら地元に戻ることができ、地元でテレワークをしながら自分の地元のことを考えられる会社でありたい」という思いがあります。また首都圏で生まれ育った社員が、ワーケーションを通して他の地域の人と触れ合い、自分がどこか他の地域で住むというイメージを持つことで、将来的に二拠点居住や移住など住む場所の選択肢を広げられるようにしていきたいと思い、今後も積極的に実施していく方針です。

